

どう守る三嶺・剣山系の森と水と土

—シカ被害対策を考える・シンポジウム(5)—

三嶺・剣山系の自然林の被害は、依然深刻な状況が続いておりますが、稜線部においてはやや緑の再生が見られつつあります。しかし、急傾斜地では裸地状態が続き、崩落や大量の土砂流出が起きています。

近年全国的にも被害対策・管理捕獲の時代を迎え、三嶺・剣山系においても管理捕獲の実施と「連携捕獲」が課題となっています。

本シンポジウムでは、これらの課題を明らかにし、みんなの会の取り組みの成果の報告、獣医師さんの興味深い報告等、一般の方々に知っていただき、行政、環境保全活動に関わっている方々と共通認識を深め、今後の活動を進めるきっかけにしたいと考えています。

白骨林と化した中東山のウラジロモミ



【日時】 2012年1月29日（日） 13時30分～16時30分

【場所】 香美市立保健福祉センター香北 2階ホール

（高知県香美市香北町アンパンマンミュージアム西隣：入場無料）

《基調報告》 13時30分～14時30分

シカ被害対策の全国的動向と三嶺・剣山系の課題

依光良三

（依光良三：三嶺の森をまもるみんなの会代表 / 高知大学名誉教授）

著書：「シカと日本の森林」（編、みんなの会メンバー執筆、築地書館、2011年）

「森と環境の世紀」（日本経済評論社）、など（専門は森林環境問題）

《みんなの会からの報告》 14時40分～15時40分（時間は特別報告を含む）

報告1 防鹿柵設置の効果と希少種の保護

森の回廊四国をつくる会

坂本 彰

報告2 三嶺山系稜線部の自然再生の取り組み

高知大学理学部

石川慎吾

《特別報告》

獣医師からみたシカの取り方減らし方

わんぱーくこうちアニマルランド

早川大輔

《質疑・応答・討論》 15時45分～16時30分

コーディネーター 奥村栄朗（森林総合研究所四国支所）

【主催】 三嶺の森をまもるみんなの会 問い合わせ先（依光 0887-56-2366、坂本 088-850-0102）

【共催】 林野庁四国森林管理局、環境省中国四国地方環境事務所、高知県、香美市、香南市、南国市
森林総合研究所四国支所（申請中）

【後援】 高知新聞社・RKC 高知放送、朝日新聞高知総局、NHK高知放送局、KUTVテレビ高知
（申請中）

（本シンポジウムは「物部川流域ふるさと交流推進協議会」の環境保全活動助成を受けて実施します。）